



Car Responsibility for posterity

カーレポ株式会社

ひたちなか工場

2023年度 環境活動報告書

無限の可能性で 後世に伝える挑戦を

— 無限の可能性を秘めた社員と共に —

母なる地球の恵みに生かされている私たち。

カーレポは、自動車産業の進化と環境のバランスの中で、いのちを繋ぐ自然豊かな未来を創造してまいります。

代表者挨拶

弊社は1991年に創業し、輸入車の新車整備会社として設立しました。以来、自動車産業の一翼を担い、日立港を中心とした地域産業の発展に尽力して参りました。また、2006年には自動車リサイクル業の許可を取得し、使用済自動車のリサイクルも生業としております。今では95%以上のリサイクル率で年間1万台以上を再資源化できる事業者になりました。

私は、新エネルギーとAIによって進化し続ける自動車と持続可能な脱炭素社会、それぞれの未来にはメーカーとリサイクラーが共存共栄できるサーキュラー・エコノミー（CE）という循環経済システムの構築が重要だと感じています。使用済自動車という都市鉱山から資源を生み出す、次世代にとって<今>必要な企業として、その重要な役割を後世に伝えていければ幸いです。

弊社は常に時代にあった挑戦を重ね、多くの方に信頼していただけるよう経営陣・従業員一同努めて参ります。

代表取締役 赤須 洋一郎

1. CO₂排出量削減への取組み

① 太陽光発電システムによる削減実績

2015年、ひたちなか工場に太陽光発電システムを設置。
2023年は杉の木 約1424本分のCO₂吸収量と同量の削減効果を得られました。

年	2021年	2022年	2023年
発電量 (kwh)	54,699	52,936	45,837
CO ₂ 削減量* (kg・CO ₂)	21852.3	20512.7	19939.1
植林効果換算** (本)	1560.9	1465.2	1424.2



* 算出には、「太陽光発電協会 表示ガイドライン(2023年度)」に記載の基準値を使用

** 50年生の杉1本当たりのCO₂吸収量を約14kgとして算出

② 自動車リユース部品生産による削減実績

ひたちなか工場では自動車リサイクルを行っています。
自動車の地上資源をリサイクルするだけでなく、自動車リユース部品の生産と販売を行い、CO₂排出量削減に貢献しています。



2023年1月～12月の削減量概算 **882 t・CO₂**
※算出には一般的とされる数値を使用

植林効果換算 **63,014.1本**
⇒ 21,0ha 分の植林効果

21.0 ha は……

一般住宅 約3,630軒分の広さ

※35坪2階建て住宅の1階部分を17.5坪とした場合

③ 全部利用出荷によるCO₂削減効果

※車1台を1tとし、内50%(500kg)が鉄とする

1tの鉄を精製するときに発生するCO₂量の目安

鉄鉱石から精製… 2.0 t・CO₂

Aプレスから精製… **0.5 t・CO₂**

⇒ 車1台分(鉄500kg)に換算した場合

全部利用(Aプレス)出荷で削減されるCO₂ **約750kg**

2023年夏、ひたちなか工場では2022年度における全部再資源化の実績を評価いただき、以下の賞を受賞しました。

■全部再資源化 THチーム より
順位賞 全国TOP30

■自動車破碎残さリサイクル促進チーム(ART) より
順位賞 全国TOP20



2. 社会への働きかけ

① 工場見学の受入れを実施

工場見学の受入れを実施し、2023年4月から2024年3月までの1年間で、222名にご来場いただきました。

主に自動車リサイクルの知見を深めるため、地元の小中学校や大学、韓国環境財団、早稲田大学、ノルウェー科学技術大学、インド工科大学、一般企業の皆様が工場見学に参加してくださいました。

今後も自動車リサイクルの認知拡大のため、工場見学の受入れを続けてまいります。

「韓国環境財団」
工場見学の様子



「早稲田大学、ノルウェー科学大学
インド工科大学」工場見学の様子



② 感謝状

この度、カーボンオフセット協力企業として、常陽グリーンエネルギー様から感謝状をいただきました。

カーボンオフセットとは、生産活動で生じたCO₂を森林保全などで相殺(オフセット)する取り組みのことです。

これからも私たちが住む地球環境保護のため、二酸化炭素の削減や森林の保全に貢献してまいります。



3. 地域清掃・緑化活動

カーレポでは、作業単位ごとのグループに分かれ「小集団活動」と名付けて勤務作業内容に準じた、またはそれ以外の自発的活動を行っています。
その殆どが作業環境整備や、より効率的に仕事をするための工夫を内容としています。
(その中で、ひたちなか工場に於いて、環境保全や地域の安全を考慮した活動を行っている内容の一例をご紹介します。)

小集団リーダー 赤平

①環境整備作業(工場周辺の清掃)



②生物保全、植物の育成

緑地帯の殆どが砂地である中で、松、杉以外の育ちにくい植物について、検証的に土壌を改良して生育する活動を行っています。



芝桜



円形の緑地帯/花壇



成果物(レモン)



成果物(トマト・キャベツ・サニーレタス)